

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

①

(11)Publication number : 06-019933

(43)Date of publication of application : 28.01.1994

(51)Int.Cl.

G06F 15/21  
H04M 15/00

(21)Application number : 04-144915

(71)Applicant : SONOYA NOBUYUKI

(22)Date of filing : 11.05.1992

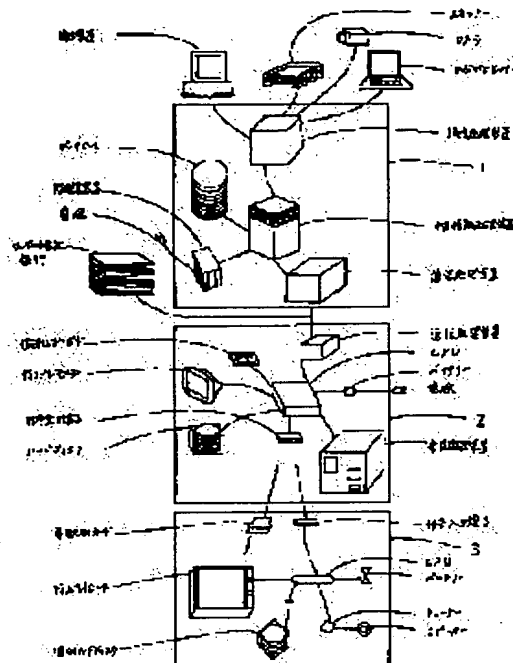
(72)Inventor : SONOYA NOBUYUKI

## (54) INVISIBLE SIGNAL SALES TOTALIZING SYSTEM

## (57)Abstract:

**PURPOSE:** To circulate information similarly to shaped commodities on the same dimension, to occasionally sell the information and to immediately totalize the data of royalty by occasionally transmitting sales information to an information processing collecting/distributing device and totalizing the sales of literary works.

**CONSTITUTION:** The information processing collecting/distributing device 1 is connected to a signal sales device 2 through cable communication or microwave transmission. Each user is allowed to select the information of value added from each device 2, pay the cost of the information by means of coins, bills, a prepaid card, a credit card, or the like and input an invisible signal to an information processing display monitor device 3 to purchase it. The sold amount and received amount of information signals are occasionally transmitted from the device 2 to the device 1 to occasionally totalize the sales of literary works. Since prices can be differentiated by the information prices of respective signals and the individual price setting of each copyright owner and its title display can be executed, the invisible signals can be circulated and sold to unspecified many consumers similarly to normal merchandises.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 01.04.1999

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 17.04.2001

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

BEST AVAILABLE COPY

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-19933

(43)公開日 平成6年(1994)1月28日

(51)Int.Cl. <sup>5</sup>	識別記号	序内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F 15/21	3 5 0	7052-51.		
H 0 4 M 15/00		Z 7190-5K		

審査請求 未請求 請求項の数1(全 9 頁)

(21)出願番号 特願平4-144915

(22)出願日 平成4年(1992)5月11日

(71)出願人 592121055

相野谷 信之

東京都渋谷区恵比寿西2丁目6番14の408号

(72)発明者 相野谷 信之

東京都渋谷区恵比寿西2丁目6番14の408号

(74)代理人 介埋士 仁科 勝史

## (54)【発明の名称】 無形信号販売集計システム

## (57)【要約】

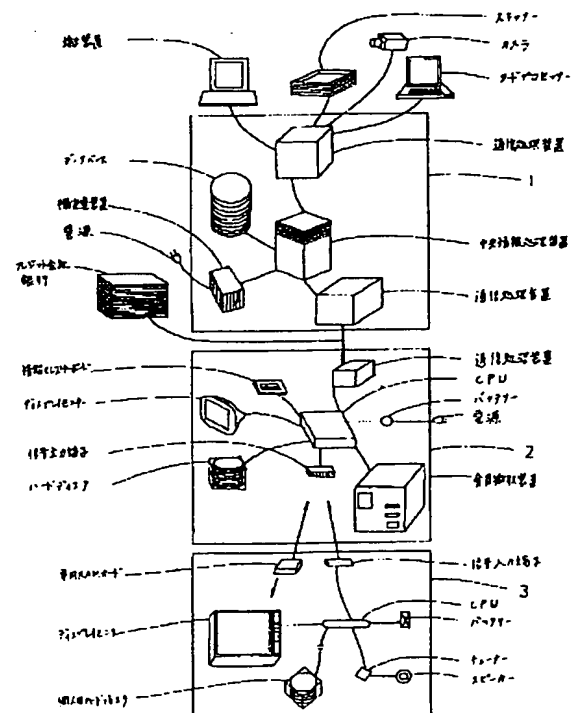
【目的】本発明は、新聞、出版、音楽、映像等の情報メディアにおいて不特定多数の消費者に対し、無形の信号を、物流工程を省き、通常の有形製品と同等に流通販売する事ができ、且つその販売実績を集計可能とするシステムである。

【構成】①本発明は、情報処理集配装置、信号販売装置、情報処理ディスプレイモニター装置が連動してなる無形信号販売集計システムを次の様に構成した。

②情報処理集配装置と信号販売装置とをケーブル通信又はマイクロウェーブ電送でつなぐ。

③各信号販売装置から、付加価値情報を選定し、硬貨、紙幣、プリペイドカード、クレジットカードなどを使用して支払い、無形信号を情報処理ディスプレイモニター装置へ入力購入させる。

④販売された各情報信号の数量と入金額を、信号販売装置から情報処理集配装置へ随時送信し、著作物の販売集計を随時行う。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 情報処理集配装置、信号販売装置、情報処理ディスプレイモニター装置が連動してなる無形信号販売集計システムであって、

情報処理集配装置が、中央情報処理装置、データベース、通信処理装置等で構成され、

信号販売装置が情報処理装置、通信処理装置、ハードディスク、専用出力端子、ディスプレイモニター、硬貨・紙幣読取装置、磁気カード読取装置、プリペイドカード読取装置等の各金員徴収装置及び領収書発行プリンター等で構成され、

情報処理ディスプレイモニター装置が、小型の情報処理装置、ディスプレイモニター、スピーカー、小型チューナー、信号販売装置と接続可能な専用入力端子または各情報処理ディスプレイ装置ごとに接続面が一对の取り外しできる専用記憶カードで構成され、

情報処理集配装置と信号販売装置とをケーブル通信又はマイクロウェーブ電送でつなげ各信号販売装置から、付加価値情報を選定し、硬貨、紙幣、プリペイドカード、クレジットカード等を使用して支払い、無形信号を情報処理ディスプレイモニター装置へ入力購入し、販売情報を、信号販売装置から情報処理集配装置へ随時送信し、不特定多数の消費者に、無形信号のみを流通販売し、同時に各信号化された著作物の販売集計を随時行うことを特徴とする無形信号販売集計システム。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、新聞、出版、音楽、映像等の情報メディアにおいて不特定多数の消費者に対し、無形の信号を、物流工程を省き、通常有形製品と同等に流通販売するためのシステムに関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】 情報メディアには、TV、ラジオ、CATV、パソコン通信などの一度に大量の付加価値情報を物流せずに成り立つ産業と、新聞、雑誌、出版物、CD、ビデオ等の物流を必要とする産業がある。

【0003】 前者は、付加価値情報が物品化されていないため、広域に情報を流せるが、大量情報を不特定多数の消費者に、その場で個別に価格販売することが出来なかった。従って、市場として成り立つため、大きくは二つの方法が存在した。一つは、利用者から一定の使用料や会費を徴収する方法。他は、スポンサーをつけ、放送等を時間モードにより、プライス化し、その見返りとして広域の聴取者にとって興味のある情報を流す合間に製品等の広告宣伝をする方法であり、この2つの方法は世界的に行われているところである。

【0004】 他方、物流を必要とするメディアでは、不特定多数の消費者に情報を流通、販売するため、初期工程として情報の原材料といえるニュース、音、文章、絵等の企画、選別、作曲、編集を行い、消費者の知りた

がる付加価値情報へつくりあげていく。中間工程で情報の物品化を行い、新聞、雑誌、フロppyディスク、CD等の製品を物流工程に乗せる。最終工程では、小売りや直接配送等をし、各消費者へ付加価値情報を販売するのである。

## 【0005】

【発明が解決しようとする問題点】 本発明は、叙上のような物品化されていない情報も物品化されている情報も同一次元で有形商品と同様に流通させ販売させようとするものである。

## 【0006】

【問題点を解決するための手段】 本発明は上記目的を達成するため、情報処理集配装置、信号販売装置、情報処理ディスプレイモニター装置が連動してなる無形信号販売集計システムを次の様に構成した。

【0007】 ①情報処理集配装置を、付加価値情報を電子信号化し、該信号を中央情報処理装置、データベース、通信処理装置等で構成する。

②信号販売装置を情報処理装置、通信処理装置、ハードディスク、専用出力端子、ディスプレイモニター、専用バッテリー、硬貨・紙幣読取装置、磁気カード読取装置、プリペイドカード読取装置等の各金員徴収装置及び領収書発行プリンター等で構成する。

③情報処理ディスプレイモニター装置を、小型の情報処理装置（CPU及び記憶媒体等である）、ディスプレイモニター、スピーカー、小型チューナー、専用バッテリー、信号販売装置と接続可能な専用入力端子または各情報処理ディスプレイ装置ごとに接続面が一对の取り外しできる専用記憶カードで構成する。

④情報処理集配装置と信号販売装置とをケーブル通信又はマイクロウェーブ電送でつなぐ。

⑤各信号販売装置から、付加価値情報を選定し、硬貨、紙幣、プリペイドカード、クレジットカードなどを使用して支払い、無形信号を情報処理ディスプレイモニター装置へ入力購入させる。

⑥販売された各情報信号の数量と入金額を、信号販売装置から情報処理集配装置へ随時送信し、著作物の販売集計を随時行う。

## 【0008】

【実施例】 以下図示の実施例に従い説明する。図1は本発明の全体を示す概略図である。まず本発明の必要三装置である情報処理集配装置1、信号販売装置2、情報処理ディスプレイモニター装置3の一実施例につき各構成、機能、総合的作用と役割を説明する。

【0009】 情報処理集配装置1は、中央情報処理装置、データベース、通信処理装置、予備充電装置で構成される。

【0010】 情報処理集配装置1の総合的作用は、音楽、映像等の情報メディアが編集、作成した付加価値情報を、スキャナー、端末装置、ワードプロセッサ等を

用いて信号化し、信号化された情報をストックするためのデータベースを設ける。各地に設置された信号販売装置2へ、ストックされた情報から必要とされた情報信号を、中央情報処理装置が選り出し各地の信号販売装置2へ随時伝達する。

【0011】伝達方法は、大まかに二方式ある。電波通信式は、広域へ信号を送れる利点はあるが、付加価値情報の盗聴や相互間の通信装置に電波の受送信アンテナ等の受送信端末装置の大型化とコスト高があげられ実用的とはいえない。オンライン方式は光通信などを利用して、新聞、雑誌等の最新情報を各地の信号販売装置2へ通信し、前日の新聞内容や以前の情報信号を消し去り、ストックさせる。情報の在庫管理にも最適といえる。また、相互通信が出来るため消費者が必要な情報を検索でき、信号販売装置2のハードディスクにストックされていない情報や大量の情報の販売にも、直接、情報処理集配装置1と接続でき個別販売できる。

【0012】信号販売装置2は、情報処理装置、CPU、通信処理装置、ハードディスク、専用出力端子、ディスプレイモニター、専用バッテリー、硬貨・紙幣読取装置、磁気カード読取装置、プリペイドカード読取装置等の、各金員徴収装置、領収書発行プリンター、で構成される。

【0013】信号販売装置2の作用は、情報処理集配装置1から伝達された情報信号をストックし、消費者にその情報の大まかな内容と価格を表示し、無形信号を販売するものである。一般の小売店や自動販売機との大きな違いは、情報がストックされているかぎり、売り切れるということは絶対にないということである。又、情報処理集配装置1は、どの情報信号がどれだけ消費者に販売できたか個別に数量と販売収入を集計し、著作物の保護と著作権者に金員を支払うための資料作成機能を有する。

【0014】信号販売装置2による徴収方式は、硬貨、紙幣によるもの、銀行やクレジットカード会社と相互通信を行う磁気カードとコードナンバーによるもの、新聞社や各情報メディア、または、情報処理集配装置1が発行したプリペイドカードによるもの、情報処理集配装置1に登録された消費者の持つ磁気カードとコードナンバーによる後払い方式のもの、大まかに四つの方法がある。装置の簡略化と防犯面を考慮すると、プリペイドカード方式が最適といえる。ただし、オフィス、家庭用の装置を保有する人々や高額な情報を入手する必要のある消費者は定期的に一括して後払いする方式が好ましいといえる。

【0015】情報処理ディスプレイ装置は、小型の情報処理装置、CPU、ディスプレイモニター、スピーカー、小型チューナー、専用バッテリー、信号販売装置2と接続可能な専用入力端子または各情報処理ディスプレイ装置ごとに接続面が一對の取り外しできる専用RAM

カード、で構成されたものである。

【0016】消費者が必要な情報を選択し金員を支払い信号販売装置2から信号を自分の持つ情報処理ディスプレイモニター装置3に接続する方法は二つある。直接、信号販売装置2の専用出力端子に情報処理ディスプレイモニター装置3の専用入力端子を接続する直接方式。この方式の利点は、大量情報の入力に役立つが購入した情報のストックが個人所有のハードディスク、記憶装置によることとなる。第三者に盗用されないよう、ハードディスクを持つ購入者の情報管理が大切となる。

【0017】二つ目は専用RAMカード方式である。書き込み自由な記憶回路と小型バッテリーによって構成されているカードである。購入情報の乱用防止のため、同機種の情報処理ディスプレイモニター装置3であっても、図3に示されるように差込形状を個別に変えてある。一對の情報処理ディスプレイモニター装置3からこのカードを取り外して信号を受ける。小程度の情報入力に適し、入力時間は直接方式より遅いといえる。

【0018】信号販売装置2と情報処理集配装置1とはケーブル通信または、マイクロウェーブ電送でつながれる。各地に設置された信号販売装置2から、情報処理ディスプレイモニター装置3を保有した消費者が、各自の知りたい情報を、値段及び情報のタイトルが表示されているディスプレイモニターより選り出し、硬貨、紙幣、プリペイドカード、クレジットカードなどを使用して支払い、無形信号を情報処理ディスプレイモニター装置3へ入力購入する。販売された各情報信号の数量と入金額を、信号販売装置2から情報処理集配装置1へ随時送信し知らせる。

【0019】本発明の応用例を新聞情報の信号の流れと不特定多数の消費者の動向を、一つ取り上げて説明する。新聞社が編集し、完成させた朝刊がある。その内容を各種端末装置で情報処理集配装置1へ、信号化し送信する。

【0020】情報処理集配装置1は、各種情報をデータベースに整理しストックする。新聞の内容も一端ストックされながら、各地に設置され新聞社の指定した、信号販売装置2に朝刊の内容を伝達する。その際前日の新聞の内容を消去する。

【0021】信号販売装置2に、その日の新聞内容をストックさせ、また、一般の消費者にわかるようディスプレイモニターに値段、日付、新聞と表示する。不特定多数の消費者は、各地に設置された信号販売装置2のディスプレイモニターから自分の知りたい情報を選択する。

【0022】信号購入の手順は次のようになる。

1. 新聞社もしくは情報処理集配装置1発行のプリペイドカードを挿入する。
2. セレクトボードから新聞を選びボタンを押す。
3. 保有の情報処理ディスプレイモニター装置3と信号販売装置2を接続する。

4. スタートボタンを押す。
5. 画面に入力終了と表示が出て、接続を外す。
6. プリペイドカードを取り出し終了する。

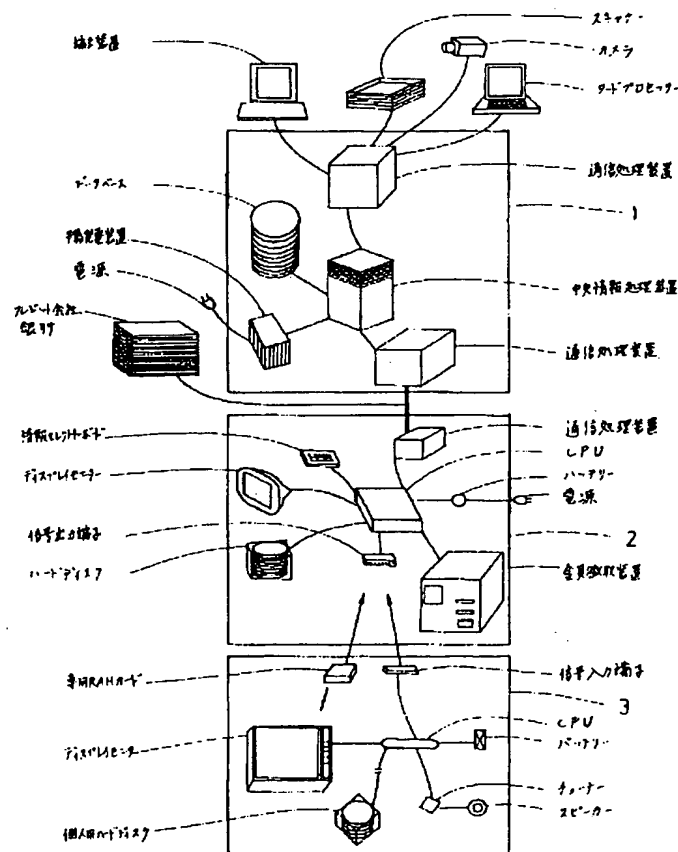
【0023】消費者は、新聞の朝刊内容の信号購入後、電車内やオフィス等好きなときに好きな場所で情報処理ディスプレイモニター装置3によって情報を知ることができる。情報処理集配装置1は、信号販売装置2から通信を受け誰のどの付加価値情報がどれだけ販売できたかリアルタイムで集計でき、著作権者にその販売実数により著作権を支払う基となる資料を作成することとなる。

#### 【0024】

【発明の効果】本発明は如上の様に構成され作用するため次の様な効果を発揮する。

①情報処理集配装置1、信号販売装置2、情報処理ディスプレイモニター装置3の連動により、気、液、固体でない形無き信号を、会費や時間度数、使用回数などの計測方法を用いなくて、各信号の情報価値により差別化し、リアルタイムで著作権者の独自の価格設定およびタイトルを表示でき、不特定多数の消費者ごとに物品加工せず信号を通常商品と同じく大量かつ個別に流通販売できる。また、見込み生産が必要無くなり在庫管理が即座に行える。信号化された各著作作品の流通および販売、集

【図1】



計が瞬時に出来ることとなる。

【0025】②情報処理集配装置1と相互通信できる通信処理装置を行する情報処理ディスプレイモニター装置3の保有者は情報処理集配装置1に登録され、使用した付加価値情報の数、及び価格等を該装置1にストックでき、一括して定期的に料金を徴収することも可能である。

【0026】③物でない信号のみを一切の製品工程及び物流工程を経ずに不特定多数の人々に通常商品のように販売するため、販売した信号の種類、日時、収入金額を、各地の信号販売装置2は即座に情報処理集配装置1に送信し、集計することが可能となった。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の全体を示す概略図

【図2】本発明の利用状況を示す説明図

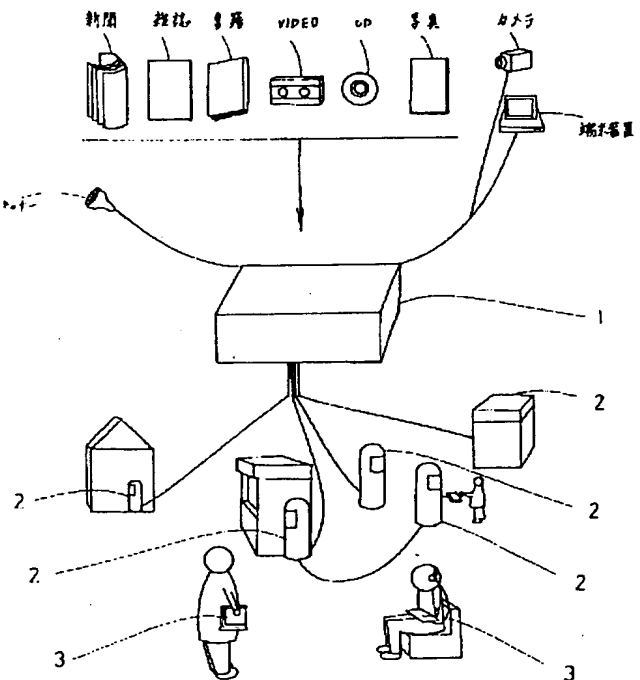
【図3】専用ラムカードユニットを示す斜視図

【図4】専用ラムカードとユニットの関係を示す斜視図

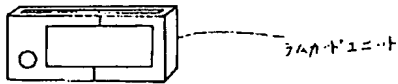
#### 【符号の説明】

- 1... 情報処理集配装置
- 2... 信号販売装置
- 3... 情報処理ディスプレイモニター装置

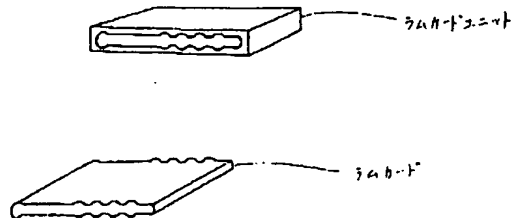
【図2】



【図3】



【図4】



## 【手続補正書】

【提出日】平成4年7月3日

## 【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

## 【補正内容】

【0003】前者は、付加価値情報が物品化されていないため、広域に情報を流せるが、大量情報を不特定多数の消費者に、その場で個別に価格販売することが出来なかった。従って、市場として成り立つため、大きくは二つの方法が存在した。一つは、利用者から一定の使用料や会費を徴収する方法。他は、スポンサーをつけ、放送等を時間モードにより、プライス化し、その見返りとして広域の視聴者にとって興味のある情報を流す合間に製品等の広告宣伝をする方法であり、この2つの方法は世界的に行われているところである。

## 【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

## 【補正内容】

【0007】①情報処理集配装置を、中央情報処理装置、データベース、通信処理装置等で構成する。  
 ②信号販売装置を情報処理装置、通信処理装置、ハードディスク、専用出力端子、ディスプレイモニター、専用バッテリー、硬貨・紙幣読取装置、磁気カード読取装置、プリペイドカード読取装置等の各金員徴収装置及び領収書発行プリンター等で構成する。  
 ③情報処理ディスプレイモニター装置を、小型の情報処理装置（CPU及び記憶媒体等でなる）、ディスプレイモニター、スピーカー、小型チューナー、専用バッテリー、信号販売装置と接続可能な専用入力端子または各情報処理ディスプレイ装置ごとに接続面が一对の取り外しできる専用記憶カードで構成する。  
 ④情報処理集配装置と信号販売装置とをケーブル通信又はマイクロウェーブ電送でつなぐ。  
 ⑤各信号販売装置から、付加価値情報を各利用者に選定させ、硬貨、紙幣、プリペイドカード、クレジットカー

ドなどを使用して各利用者が支払い、無形信号を情報処理ディスプレイモニター装置へ入力購入させる。

⑥販売された各情報信号の数量と入金額を、信号販売装置から情報処理集配装置へ随時送信し、著作物の販売集計を随時行う。

## 【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

## 【補正内容】

【0014】信号販売装置2による徴収方式は、硬貨、紙幣によるもの、銀行やクレジットカード会社と相互通信を行う磁気カードとコードナンバーによるもの、新聞社や各情報メディアが発行したプリペイドカードによるもの、情報処理集配装置1に登録された消費者の持つ磁気カードとコードナンバーによる後払い方式のもの、大まかに四つの方法がある。装置の簡略化と防犯面を考慮すると、プリペイドカード方式が最適といえる。ただし、オフィス、家庭用の装置を保有する人々や高額な情報入手する必要のある消費者は定期的に一括して後払いうる方式が好ましいといえる。

## 【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

## 【補正内容】

【0021】信号販売装置2に、その日の新聞内容をストックさせ、また、一般の消費者にわかるようディスプレイモニターに値段、日付、新聞名等と表示する。不特定多数の消費者は、各地に設置された信号販売装置2のディスプレイモニターから自分の知りたい情報を選択する。

## 【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

## 【補正内容】

【0022】信号購入の手順は次のようになる。

1. 専用のプリペイドカードを挿入する。
2. セレクトボードから新聞を選びボタンを押す。
3. 保有の情報処理ディスプレイモニター装置3と信号販売装置2を接続する。
4. スタートボタンを押す。
5. 画面に入力終了と表示が出て、接続を外す。
6. プリペイドカードを取り出し終了する。

## 【手続補正6】

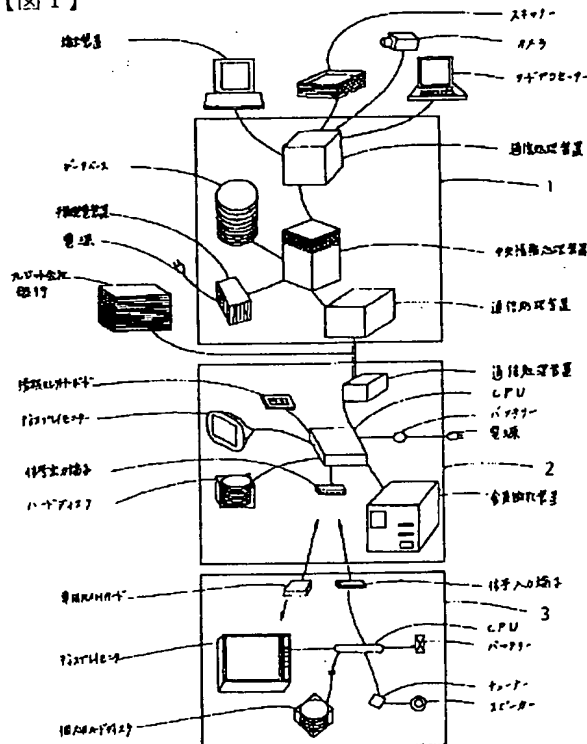
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図1

【補正方法】変更

【補正内容】

【図1】



## 【手続補正書】

【提出日】平成5年8月10日

## 【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正内容】

【書類名】明細書

【発明の名称】無形信号販売集計システム

【特許請求の範囲】

【請求項1】 端末装置によって信号化された情報及びソフトウェアの処理及び管理を行う情報処理集配装置と、各所に設置され各種情報及びソフトウェアの上記信号化

されたものだけを不特定多数の消費者への個別販売を行う信号販売装置と、購入された信号の再生使用を行うため消費者がそれぞれに所存する情報処理ディスプレイモニター装置とからなる無形信号販売集計システムであって、上記情報処理集配装置は、上記端末装置によって信号化された情報及びソフトウェアの処理を行う中央処理装置と、当該情報及びソフトウェアの保存を行うデータベースと、上記端末装置との通信コントロール及び上記信号販売装置との通信コントロールを行う通信処理装置とを備え、上記信号販売装置は、情報処理装置と、上記情報処理集配装置の通信処理装置との相互通信可能な通信処理装置と、上記情報処理集配装置から伝達された情

報信号をストックするための記憶装置と、当該ストックされている情報の大まかな内容と値段を表示するためのディスプレイと、購入する情報信号を選択するための選択手段と、購入した信号を上記情報処理ディスプレイモニター装置に伝達するための信号出力手段と、信号の購入にかかる対価を徴収すると共に、該対価をリアルタイムにカウントする金員徴収装置とを備え、上記情報処理ディスプレイモニター装置は、情報処理装置と、上記信号販売装置から信号を受け取るための信号入力手段と、購入した信号を記憶するための記憶装置と、購入した信号を再生及び処理使用するためのCPU又はMPU、中央情報処理装置、コントロールキーボード、ディスプレイモニターとを備え、上記情報処理集配装置と信号販売装置はケーブル通信又はマイクロウェーブ電送で接続され、利用者は各信号販売装置から付加価値情報を選定すると共に、その対価を支払って無形信号を情報処理ディスプレイモニター装置へ入力購入し、また各信号販売装置はその販売情報を情報処理集配装置へ随時送信し、該情報処理集配装置は各信号化された著作物の販売集計を随時行うことを特徴とする無形信号販売集計システム。

【請求項2】上記情報処理ディスプレイモニター装置は、購入した信号を再生するためのスピーカーと、所定の情報を受信するためのチューナーを備えていることを特徴とする請求項1に記載の無形信号販売集計システム。

【請求項3】上記情報処理ディスプレイモニター装置の信号入力手段が信号入力端子であり、上記信号販売装置の信号出力手段が、上記信号入力端子と接続可能な信号出力端子であることを特徴とする請求項1または2に記載の無形信号販売集計システム。

【請求項4】上記情報処理ディスプレイモニター装置の信号入力手段が、各情報処理ディスプレイモニター装置ごとに接続面が一对の取り外しできる専用記憶カードもしくは、同一機種の情報ディスプレイモニター装置との互換性を排除した単独に個別使用を限定した一对の記憶媒体カードであり、上記信号販売装置の信号出力手段が、該専用記憶カードと接続可能な専用出力端子または信号出力書込み装置であることを特徴とする請求項1または2に記載の無形信号販売集計システム。

【請求項5】上記金員徴収装置が、硬貨・紙幣読取装置、磁気カード読取装置、プリパイドカード読取装置の少なくとも一つを備えていることを特徴とする請求項1～4の何れかに記載の無形信号販売集計システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、新聞、出版、音楽、映像等の情報メディアにおいて、新聞等本来物品化されて流通する情報を物品化することなく、テレビ、ラジオ等物品化されていない大量同時情報を個別信号として、適時不特定多数の消費者の欲求に対し、物流工程を省き、

通常有形製品と同等に流通販売するためのシステムに関するものである。

【0002】

【従来の技術】情報メディアには、テレビ、ラジオ、CATV、パソコン通信などの一度に大量の各種情報を物流せず成り立つ産業と、新聞、雑誌、出版物、CD、ビデオ等の物流を必要とする産業がある。

【0003】前者は、付加価値情報が物品化されていないため、広域に情報を流せるが、大量情報を不特定多数の消費者に、随時個別に価格販売することが出来なかった。従って、市場として成り立つため、大きくは二つの方法が存在した。一つは、利用者から一定の使用料や会費を徴収する方法。他は、スポンサーをつけ、放送等を時間モードと視聴率等により、ブライズ化し、その見返りとして広域の視聴者にとって興味のある情報を流す合間に製品等の広告宣伝をする方法であり、この2つの方法は世界的に行われているところである。

【0004】他方、物流を必要とするメディアでは、不特定多数の消費者に情報を流通、販売するため、初期工程として情報の原材料といえるニュース、音、文章、絵等の企画、選別、作曲、編集等を行い、消費者の知りたがる付加価値情報へつくりあげていく。中間工程で情報の物品化を行い、新聞、雑誌、フロピィデスク、CD等の製品を物流工程に乗せる。最終工程では、小売りや直接配送等をし、各消費者へ付加価値情報を販売するのである。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】本発明は、付加価値情報及びソフトについて、該付加価値にみあう料金を払い、且つ、個別に販売できなかった上記情報メディアと、物流が伴う上記情報メディアの有する各々の欠点を解決しようとするものである。即ち、映像等の付加価値情報を物品化することなく伝達する情報メディアは、特定されない個人ごとに個別情報を大量販売することができないため、対価の徴収がその情報のもつ付加価値によりづらいということ、新聞等の付加価値情報を物品化することにより伝達する情報メディアは、物流を生じ在庫を発生させる欠点があり、これらを同時に解決し、物品化されていない情報も物品化されている情報も同一次元で有形商品と同様に流通させ、随時販売し、なお且つ著作権料のデータ集計を即時にさせようとするものである。

【0006】

【問題点を解決するための手段】本発明は上記目的を達成するため、端末装置によって信号化された情報及びソフトウェアの処理及び管理を行う情報処理集配装置、各所に設置され上記信号化された情報及びソフトウェアの不特定多数の消費者への販売を行う信号販売装置、購入された信号の再生を行うため消費者が個別に所有する情報処理ディスプレイモニター装置が連動してなる無形信



号販売集計システムを次の様に構成した。

【0007】①情報処理集配装置を、端末装置によって信号化された各種情報及びソフトウェアの処理を行う中央情報処理装置、当該情報及びソフトウェアの保存を行うデータベース、上記端末装置との通信コントロール及び上記信号販売装置との通信コントロールを行う通信処理装置等で構成する。

②信号販売装置を、情報処理装置、情報処理集配装置の通信処理装置との相互通信可能な通信処理装置、情報処理集配装置から伝達された情報信号をストックするための記憶装置（ハードディスク等）、情報処理ディスプレイモニター装置に伝達するための専用出力手段、ディスプレイモニター、専用バッテリー、硬貨・紙幣読取装置、磁気カード読取装置、プリペイドカード読取装置等の各金員徴収装置及び領収書発行プリンター等で構成する。

③情報処理ディスプレイモニター装置を、小型の情報処理装置（CPU及び記憶媒体等でなる）、ディスプレイモニター、スピーカー、小型チューナー、専用バッテリー、信号販売装置と接続可能な専用入力手段または各情報処理ディスプレイ装置ごとに接続方法が一對の取り外しできる専用記憶カードで構成する。

④情報処理集配装置と信号販売装置とをケーブル通信又はマイクロウェーブ電送でつなぐ。

⑤各信号販売装置から、付加価値情報を各利用者に選定させ、硬貨、紙幣、プリペイドカード、クレジットカードなどを使用して各利用者が支払い、無形信号を情報処理ディスプレイモニター装置へ入力購入させる。

⑥販売された各情報信号の数量と入金額を、信号販売装置から情報処理集配装置へ随時送信し、著作物の販売集計を随時行う。

【0008】

【実施例】以下図示の実施例に従い説明する。図1は本発明の全体を示す概略図である。まず本発明の必要三装置である情報処理集配装置1、信号販売装置2、情報処理ディスプレイモニター装置3の一実施例につき各構成、機能、総合的作用と役割を説明する。

【0009】情報処理集配装置1は、中央情報処理装置、データベース、通信処理装置、予備発電装置で構成される。

【0010】情報処理集配装置1の総合的作用は、音楽、映像等の情報メディアが編集、作成した付加価値情報を、スキャナー、端末装置、ワードプロセッサ等を用いて信号化し、信号化された情報をストックするためのデータベースを設ける。各地に設置された信号販売装置2へ、ストックされた情報から必要とされた情報信号を、中央情報処理装置が選り出し各地の信号販売装置2へ適時伝達する。

【0011】伝達方法は、大まかに二方式ある。電波通信式は、広域へ信号を送れる利点はあるが、付加価値情

報の盗聴や相互間の通信装置に電波の受送信用アンテナ等の受送信端末装置の大型化とコスト高があげられ実用的とはいえない。オンライン方式は光通信などを利用して、新聞、雑誌等の最新情報を各地の信号販売装置2へ通信し、前日の新聞内容や以前の情報信号を消し去り、ストックさせる。情報の在庫管理にも最適といえる。また、相互通信が出来るため消費者が必要な各種情報ソフトウェアを検索でき、信号販売装置2のハードディスクにストックされていない情報や大量の情報やソフトウェアの販売にも、直接、情報処理集配装置1と接続でき個別販売できる。

【0012】信号販売装置2は、情報処理装置、CPU、通信処理装置、ハードディスク、専用出力端子（特許請求の範囲における信号出力手段）、ディスプレイモニター、専用バッテリー、硬貨・紙幣読取装置、磁気カード読取装置、プリペイドカード読取装置等の、各金員徴収装置、領収書発行プリンター、で構成される。

【0013】信号販売装置2の作用は、情報処理集配装置1から伝達された情報信号をストックし、消費者にその情報の大まかな内容と価格を表示し、無形信号を販売するものである。一般の小売店や自動販売機との大きな違いは、情報がストックされているかぎり、売り切れるということは絶対にないということである。又、情報処理集配装置1は、どの情報信号がどれだけ消費者に販売できたか個別に数量と販売収入を集計し、著作物の保護と著作権者に金員を支払うための資料作成機能を有する。

【0014】信号販売装置2による徴収方式は、硬貨、紙幣によるもの、銀行やクレジットカード会社と相互通信を行う磁気カードとコードナンバーによるもの、新聞社や各情報メディアが発行したプリペイドカードによるもの、情報処理集配装置1に登録された消費者の持つ磁気カードとコードナンバーによる後払い方式のもの、大まかに四つの方法がある。装置の簡略化と防犯面を考慮すると、プリペイドカード方式が最適といえる。ただし、オフィス、家庭用の装置を保有する人々や高額な情報を入手する必要のある消費者は定期的に一括して後払いする方式が好ましいといえる。

【0015】情報処理ディスプレイ装置は、小型の情報処理装置（CPU・MPU等）、ディスプレイモニター、スピーカー、所定の情報を受信するための小型チューナー、専用バッテリー、信号販売装置2と接続可能な専用入力端子（信号入力手段）または各情報処理ディスプレイ装置ごとに一對の取り外しできる専用RAMカード、で構成されたものである。

【0016】消費者が必要な情報を選択し金員を支払い信号販売装置2から信号を自分の持つ情報処理ディスプレイモニター装置3に接続する方法は二つある。直接、信号販売装置2の専用出力端子（信号出力手段）に情報処理ディスプレイモニター装置3の専用入力端子を接続

する直接方式。この方式の利点は、大量情報の入力に役立つが購入した情報のストックが個人所有のハードディスク、記憶装置によることとなる。第三者に乱用されないよう、ハードディスクを持つ購入者の情報管理が大切となる。

【0017】二つ目は専用RAMカード方式である。書き込み自由な記憶回路と小型バッテリーによって構成されているカードである。購入情報の乱用防止のため、同機種の情報処理ディスプレイモニター装置3であつても、図3に示されるように差込形状等、接続方法、読みこみ方法を個別に変えてある。一対の情報処理ディスプレイモニター装置3からこのカードを取り外して信号を受ける。小程度の情報入力に適し、入力時間は直接方式より遅いといえる。

【0018】信号販売装置2と情報処理集配装置1とはケーブル通信または、マイクロウェーブ電送でつながれる。各地に設置された信号販売装置2から、情報処理ディスプレイモニター装置3を保有した消費者が、各自の知りたい情報を、値段及び情報のタイトルが表示されている信号販売装置2のディスプレイモニターより選び出し、硬貨、紙幣、プリペイドカード、クレジットカードなどを使用して支払い、無形信号を情報処理ディスプレイモニター装置3へ入力購入する。販売された各情報信号の数量と入金額を、信号販売装置2から情報処理集配装置1へ随時送信し知らせる。

【0019】本発明の応用例を新聞情報の信号の流れと不特定多数の消費者の動向を、一つ取り上げて説明する。新聞社が編集し、完成させた朝刊がある。その内容を各種端末装置で情報処理集配装置1へ、信号化し送信する。

【0020】情報処理集配装置1は、各種情報をデータベースに整理しストックする。新聞の内容も一端ストックされながら、各地に設置され新聞社の指定した、信号販売装置2に朝刊の内容を伝達する。その際前日の新聞の内容を消去する。

【0021】信号販売装置2に、その日の新聞内容をストックさせ、また、一般の消費者にわかるようディスプレイモニターに値段、日付、新聞名等を表示する。不特定多数の消費者は、各地に設置された信号販売装置2のディスプレイモニターから自分の知りたい情報を選択する。この情報の選択は通常、セレクトキーボードにより行われる。

【0022】信号購入の手順は次のようになる。

1. 専用のプリペイドカードを挿入する。
2. セレクトボードから新聞を選びボタンを押す。
3. 保有の情報処理ディスプレイモニター装置3と信号販売装置2を接続する。
4. スタートボタンを押す。
5. 画面に入力終了と表示が出て、接続を外す。
6. プリペイドカードを取り出し終了する。

【0023】消費者は、新聞の朝刊内容の信号購入後、電車内やオフィス等好きなときに好きな場所で情報処理ディスプレイモニター装置3によって情報を知ることができる。情報処理集配装置1は、信号販売装置2から通信を受け誰のどの付加価値情報がどれだけ販売できたかリアルタイムで集計でき、著作権者にその販売実数により著作権を支払う基となる資料を作成することとなる。

【0024】

【発明の効果】本発明は如上の様に構成され作用するため次の様な効果を発揮する。

①情報処理集配装置1、信号販売装置2、情報処理ディスプレイモニター装置3の連動により、気、液、固体でない形無き信号を、会費や時間度数、装置使用回数、回線使用頻度などの計測方法を用いなくて、各信号の情報価値により価格を差別化し、リアルタイムで著作権者の独自の価格設定およびタイトル表示でき、情報プライバシーを保護しながら不特定多数の消費者ごとに物品加工せず信号を通常商品と同じく大量かつ個別に流通販売できる。また、見込み生産が必要無くなり在庫管理が即座に行える。信号化された各著作作品の流通および販売、集計が瞬時に出来ることとなる。

【0025】②情報処理集配装置1と相互通信できる通信処理装置を有する情報処理ディスプレイモニター装置3の保有者は情報処理集配装置1に登録され、使用した付加価値情報の数、及び価格等を該装置1にストックでき、一括して定期的に料金を徴収することも可能である。

【0026】③購入する信号の選定後、信号入力端子と信号出力端子を接続するか、専用RAMカードを信号入力端子に挿入することにより、購入者保有の情報処理ディスプレイモニターによって、電車内やオフィス等好きな場所で好きな時間に映像、音楽、文字、絵画等を再生して付加価値情報を楽しむことができる。従って、自宅においても地方都市においてもリアルタイムで情報やソフトウェアを検索して購入できるため、サテライトオフィス化の一助になるという効果もある。

【0027】④物でない信号のみを一切の製品工程及び物流工程を経ずに不特定多数の人々に通常商品のように販売するため、販売した信号の個別数量、日時、収入金額を、各地の信号販売装置2は即座に情報処理集配装置1に送信し、正確に集計することが可能となった。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の全体を示す概略図

【図2】本発明の利用状況を示す説明図

【図3】専用ラムカードユニットを示す斜視図

【図4】専用ラムカードとユニットの関係を示す斜視図

【符号の説明】

1. . . . 情報処理集配装置
2. . . . 信号販売装置
3. . . . 情報処理ディスプレイモニター装置